

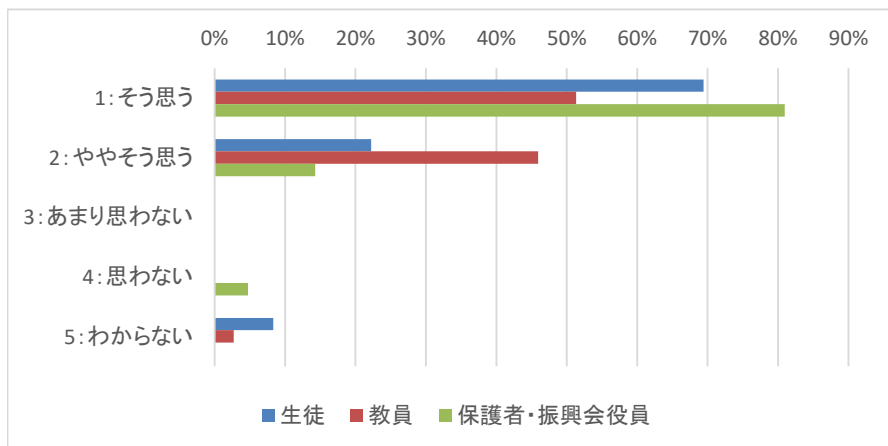
令和5年度 学校評価アンケート 集計結果

定時制関係者各位

ご協力いただきました学校評価アンケートの集計結果です。集計結果から改善点を見出して、より良い学校づくりを目指し努めて参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

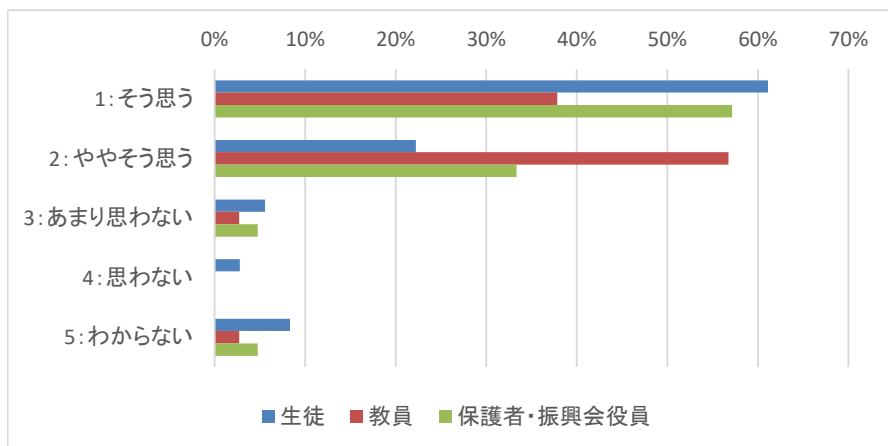
高知県立高知工業高等学校校長 北村 晋助

1 本校の生徒は、この学校に入学して良かったと思いますか。



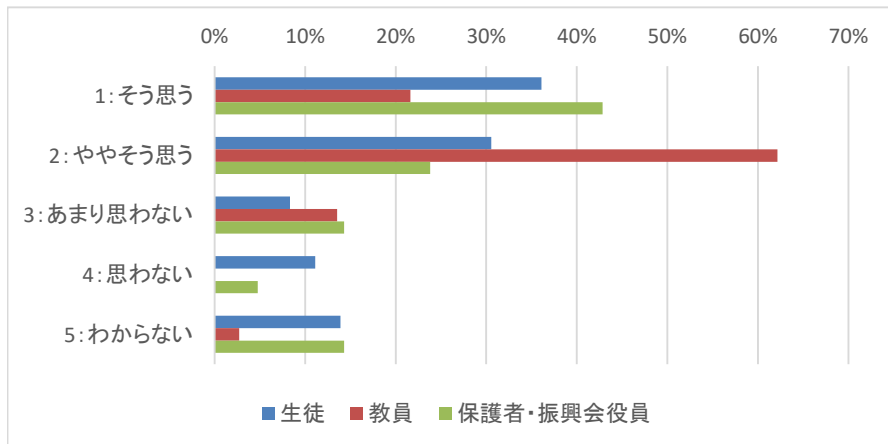
全体で見ると、95%が肯定的な意見であった。また、生徒の肯定的な意見はH29年度以降は毎年90%を超えており、その中で今年度は「そう思う」との回答も多かった。次年度に向けても、この結果に満足せず、また、このような肯定的な意見が続くように、今後も生徒の実態に応じたきめ細かな教育ができるように努めていきたい。

2 学校は家庭への連絡や情報提供(保健だより・PTA通信・進路通信・ホーム通信・ホームページ等によって)、啓発活動を行っていますが、十分だと思いますか。



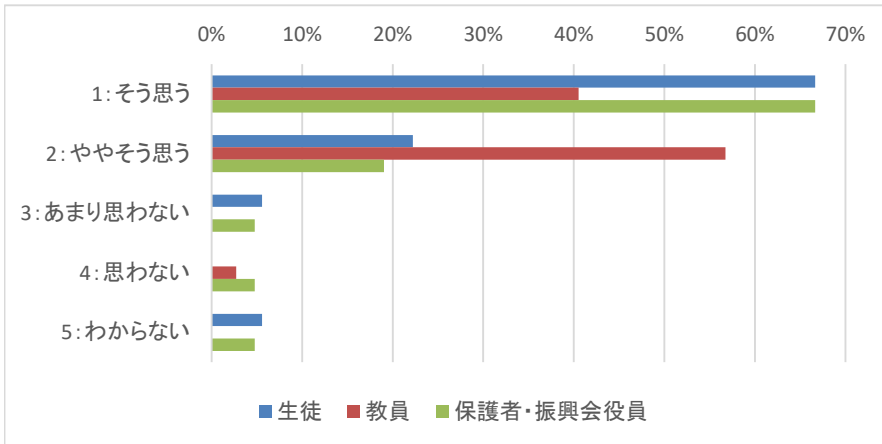
全体では90%が肯定的な意見であった。今年度は学校生活状況を知っていただくためにPTA通信に写真を多く取り入れ、各学校行事においてもホームページの紹介を掲載し、タイムリーな情報提供を心掛けた。否定的な意見が5%、「わからない」との意見が5%あるので、次年度も時代背景に即した情報提供を心がけ、効果的な発信を目指していきたい。

3 学校はICTを活用した教育に積極的に取り組んでいると思いますか。



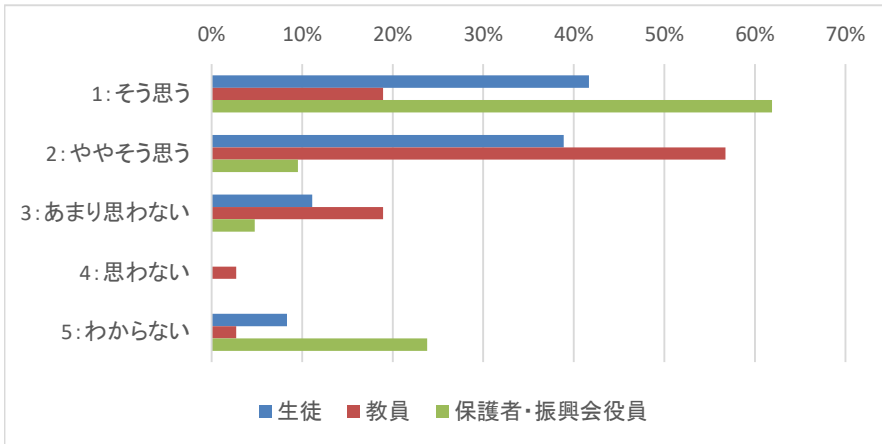
ICTの活用については、肯定的な回答が63%、否定的な回答が17%、「わからない」との回答が10%という結果となった。校舎・設備とも古いいため、ICTの活用がしづらい環境下であるが、教員が授業のねらいを示したり、学習課題への興味関心を高めたり、学習内容をわかりやすく説明したりするための大切な教材であるので、予算的な問題もあるが少しずつでも利用環境を整えていきたい。

4 学校(教職員)は授業だけでなく、教員と生徒・生徒同士の人間関係を密にするため、十分努力をしていると思いますか。



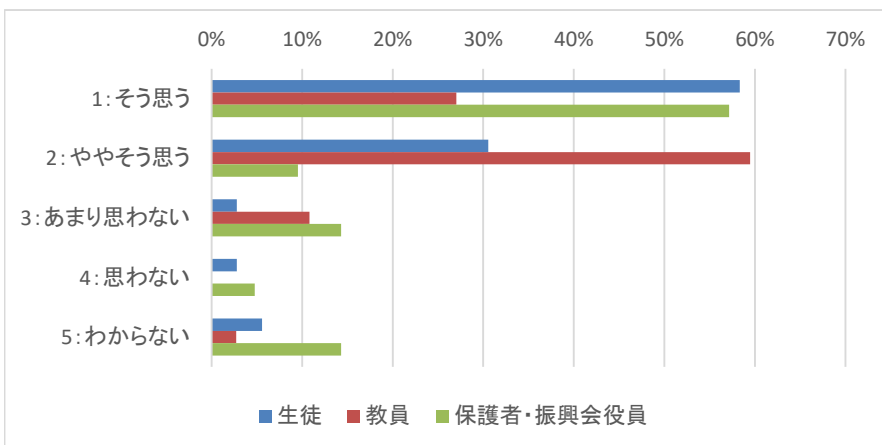
昨年度の肯定的な評価は89%であったが、本年度は92%と高まった回答となった。人と人との交流を密にすると、共有力が高まり、視野を広めることにもつながる。よって、悩みを解消することや、新たな目標づくりにもつながるので、一人一人の生徒に合った支援が行えるよう様々な教育活動にも工夫を凝らして携わっていきたい。

5 学校は部活動(運動部・文化部)の活性化に積極的に取り組んでいると思いますか。



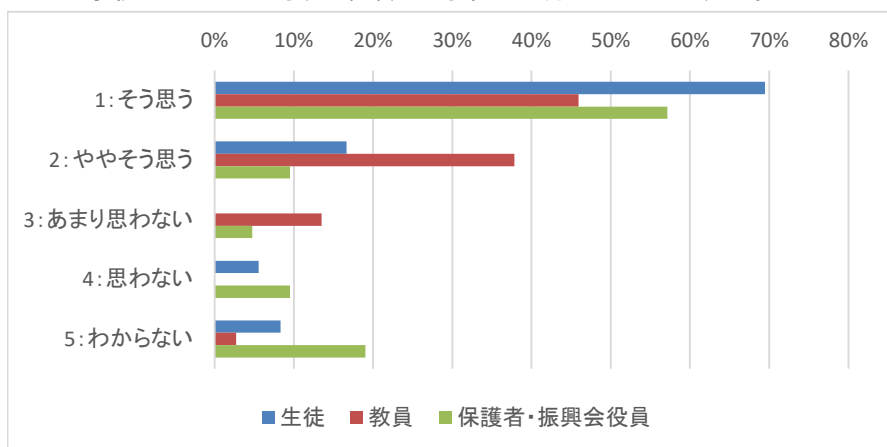
運動部では、バドミントン部とバスケットボール部が県大会で入賞をし、文化部では、土木研究部が全国規模の橋梁模型の2つの大会で最優秀賞を受賞をした。81%の生徒が肯定的に捉えているが、教員の否定的な評価も22%あったので、部活動の在り方も含め検討を図り、生徒の成長につなげたい。

6 学校は基本的な生活習慣(態度・挨拶・マナーなど)が身に付くように、適切な指導を行っていると思いますか。



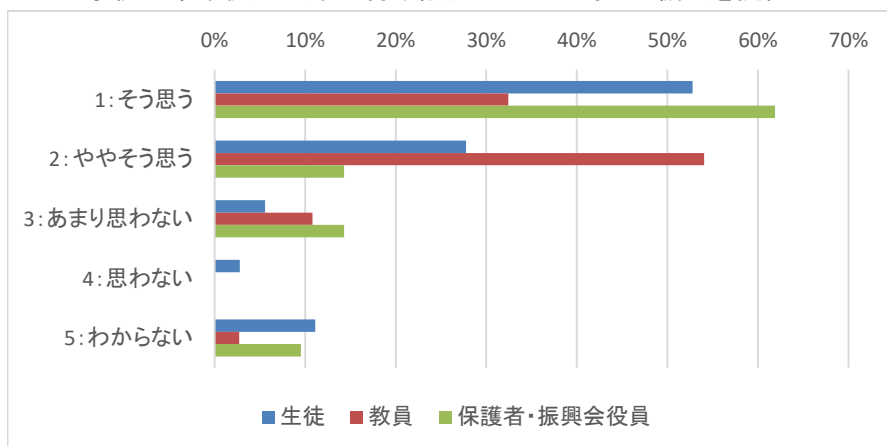
生徒の肯定的な意見が約90%と、近年の80%以上継続を今年度も維持することができた。登校時のあいさつ運動や、授業や集会時の立礼、スマートフォン等の携帯端末についても、授業開始前には預ける指導を行っており、次年度も引き続き、落ち着いて学習できる環境を整えたい。

7 学校のいじめに対する認識や対策は十分だと思いますか。



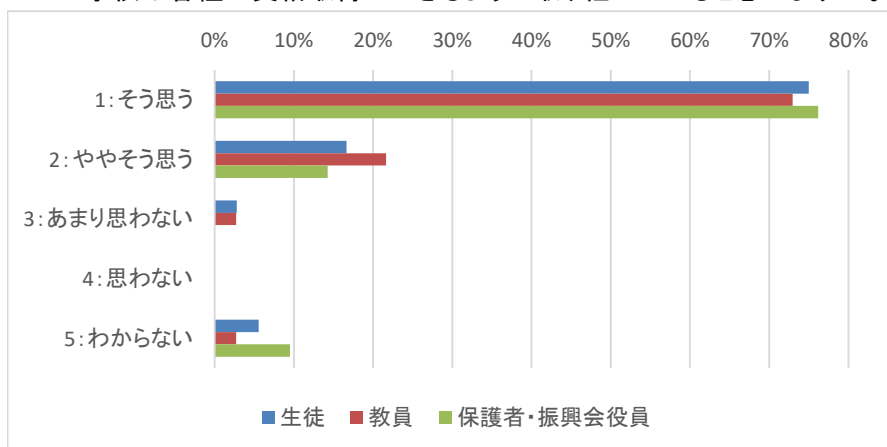
今年度の生徒の肯定的な意見は86%で、昨年度の79%より大きく上回ることができた。本校定時制では、学校生活アンケートや月々の生徒支援委員会等で、ささいな問題や生徒の言動についても必ず情報交換を行い、迅速な対応を心掛けている。次年度も、日常の生徒と会話することを全教員で重要視し、悩み等の相談しやすい関係づくりを築いていきたい。

8 学校は卒業後の進路や将来設計について考える機会を提供していると思いますか。



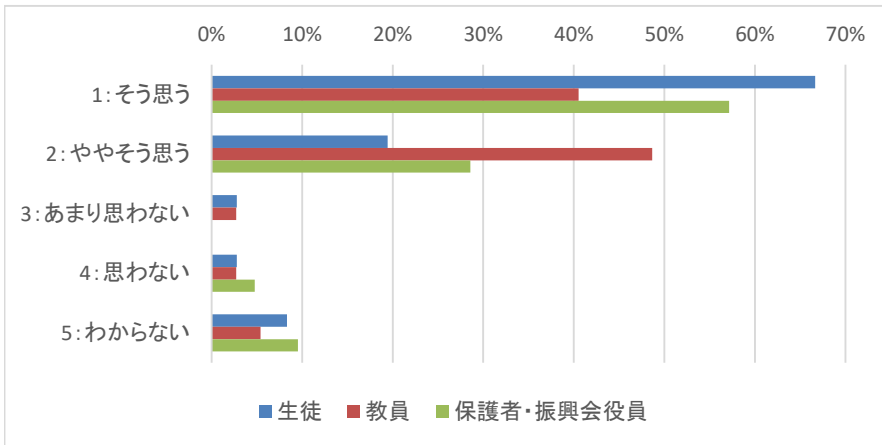
生徒全体の81%が肯定的な意見であったが、「わからない」の回答が11%あったので、今後も、進路ロングホームやキャリア講話、進路通信等を通じて様々な情報を提供し、卒業後の進路について主体的に考え、行動できるように支援していきたい。

9 学校は各種の資格取得ができるように取り組んでいると思いますか。



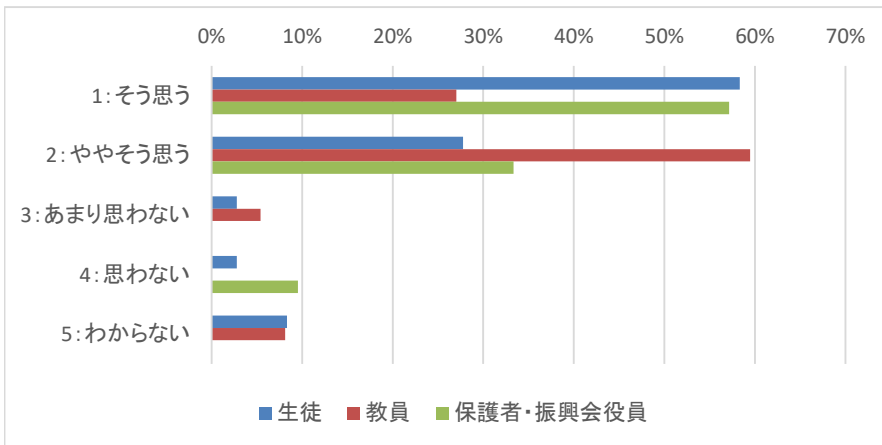
肯定的な意見が、生徒や保護者、教員の全て回答分野で90%を超えているので、資格取得へ向けた各科の取組の理解が得られている結果となった。次年度も、ものづくりの学校として、難易度の高い資格取得に向けての補習体制を充実させ、生徒が意欲的・主体的に取り組める体制を図っていきたい。

10 学校は一人一人の多様なニーズに応えるための教育に積極的に取り組んでいると思いますか。



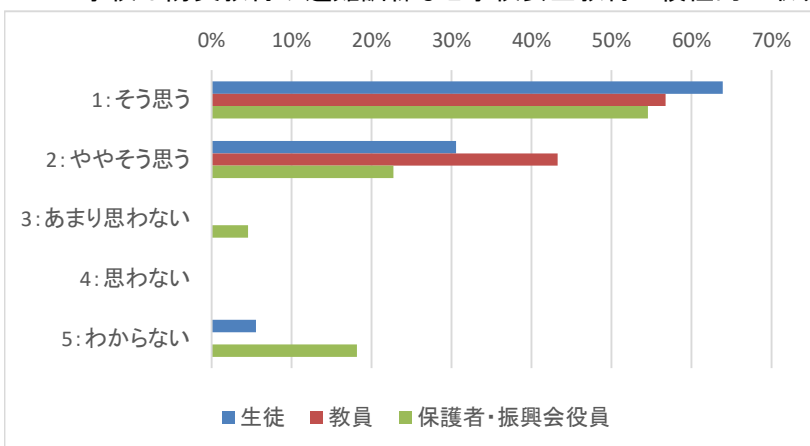
本校は中卒生から社会人等まで、高知県で最も様々な年齢層が入学する学校である。毎年、様々なニーズが生まれ、個々に応じた対応が望まれているが、今年度も生徒の肯定的な回答を見ることができた。今後も、それぞれの目標を持って入学してくる生徒の実態に即したきめ細かな教育ができるように努めていきたい。

11 学校は心身の健康や保持増進に関する指導を積極的に行っていると思いますか。



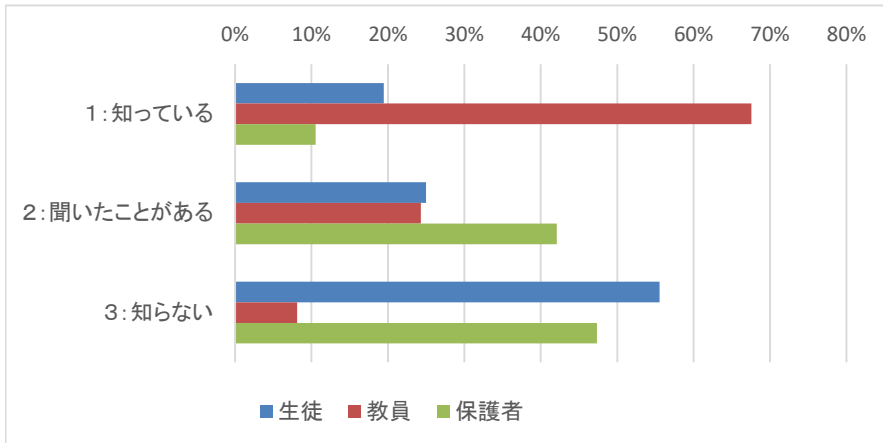
「そう思う」との肯定的な意見が、今年度も生徒と保護者から多く回答された。保健だよりも定期的に発行し、健康に関する呼びかけも、中卒生や社会人に応じた個々の対応等の成果の現れとも言えるので、今後も健康や安全に関する指導を充実させていきたい。

12 学校は防災教育や避難訓練など学校安全教育に積極的に取り組んでいると思いますか。



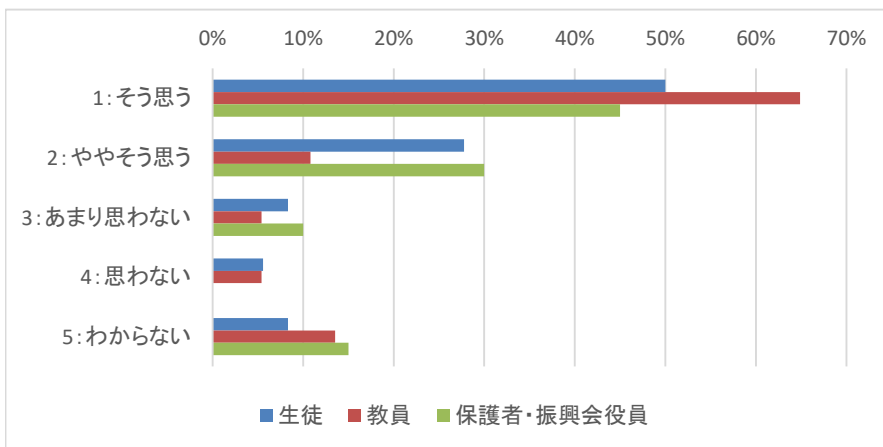
南海トラフ大地震が発生した際には、建物の倒壊とともに、津波や地盤沈下、火災まで危惧されている。その中で、防災教室や避難訓練等の取組が評価され、生徒の意見では95%以上が肯定的な意見で、「わからない」との回答があるものの否定的な回答は0%であった。今後も、保護者への周知を図りつつ、死傷者「0」を目指し、学校安全教育を推進していきたい。

13 本校の教育振興会の活動内容を知っていますか。 ※1～3で回答
 1:知っている 2:聞いたことがある 3:知らない



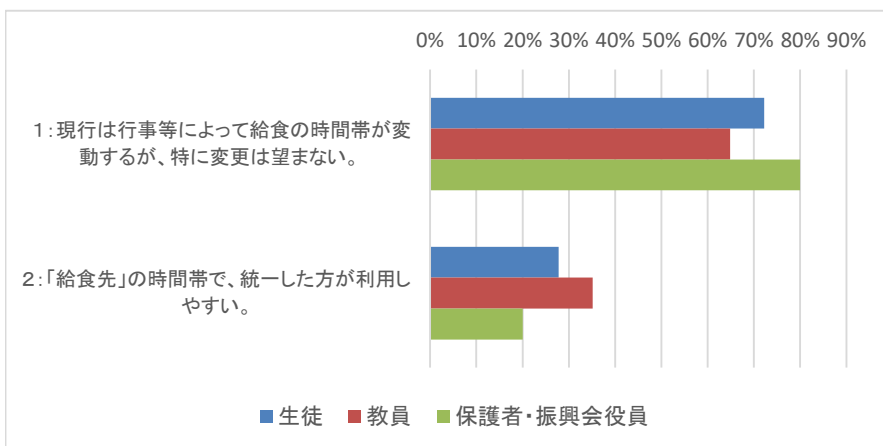
生徒、保護者とも「知らない」との回答が多い結果となった。本校の教育振興会は、本校定時制教育の振興を図る事を目的として、会費と寄付金で運営しており、部活動や各種コンテストでの生徒の旅費支援や、卒業時の修学優秀生徒や国家資格取得生徒への表彰と記念品贈呈を行っている。次年度はこのような活動内容をより広めることができるように情報発信を図りたい。

14 夜食(パン・牛乳)は現在と同様にあったほうが良いと思いますか。



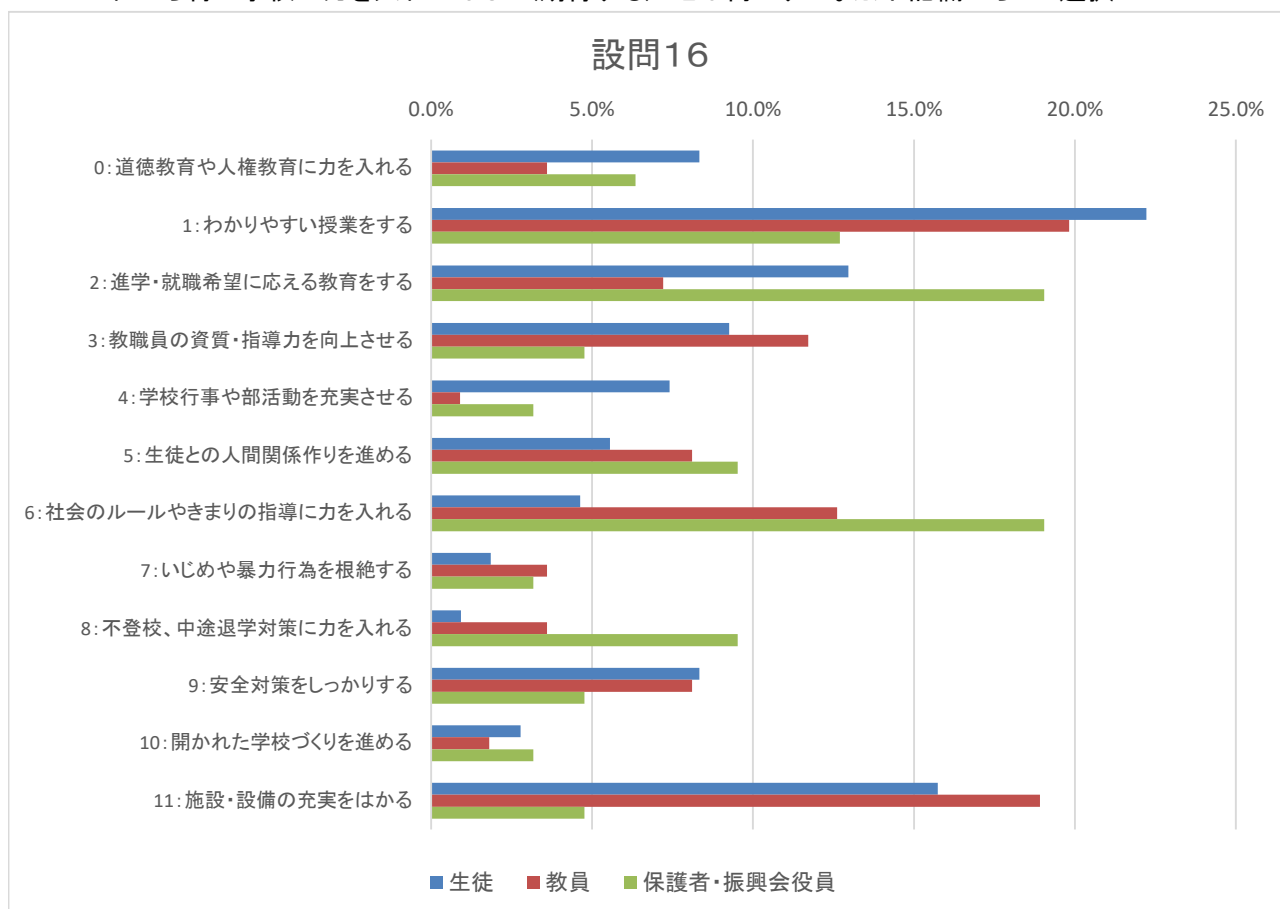
勤労青少年に対して、夜食の提供を行っているが、本校定時制は米飯給食が充実しており、少し否定的な意見や「わからない」の回答が多少あるものの、現状にそれほど問題は無いように思われる結果となった。定時制では健全な食生活を実践することが、学びの定着に必ずつながるので、夜食とともに、給食の利用率も高めていきたい。

15 給食の時間帯について意見を聞かせてください。



給食時間が20分と、県内の定時制では一番時間が短く、食べきれないとの意見もあったので、食べる時間の延長を踏まえ、給食先の時間帯に統一するように検討してきたが、従来通りの時間帯の利用が望ましい結果となった。次年度も利用状況を見たり、利用に関する意見を聞いたりしながら、最善策を考えていきたい。

16 これから特に学校に力を入れてほしい(期待する)ことは何ですか。※下記欄から3つ選択



【集計結果】

○生徒の回答率：第1位「わかりやすい授業をする」22%、第2位「施設・設備の充実をはかる」16%

○教員の回答率：第1位「わかりやすい授業をする」20%、第2位「施設・設備の充実をはかる」19%

○保護者・振興会の回答率：第1位「進学・就職希望に応える教育をする」19%、「社会のルールやきまりの指導に力を入れる」19%

特に学校に期待される内容は、上記のような結果となった。生徒の実態に応じた「わかりやすい授業をする」ことを目標に掲げ、ICTの活用も踏まえ、授業実践に力を入れて取り組んでいきたい。また、特に中卒生には、社会進出を見据えた教育や指導に力を入れ取り組んでいきたい。